

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）
第4回 地域資源・ニーズ把握部会（A部会）記録

日時	平成30年8月24日（金）14時30分～	場所	清瀬市役所 第1、2委員会室
出席者	委員：阿久津委員長（中座）、内田A部会長、田中A副部会長、名古屋委員、福嶋委員、田島委員、遠藤委員 生活支援コーディネーター：鍵和田、原田（本日本会あり。森、鈴木はB部会へ） 事務局：鈴木		
欠席者			

1 部会の進め方について

- ・「地域団体等との意見交換会」「HPの活用について」は継続して協議体とCOで取り組んでいく。
- ・「個人情報に関する勉強会」「高齢者110番（仮称）」についてはテーマごとにプロジェクトチームを組み、チームの中で議論を進める。
- ・プロジェクトチームについては、阿久津委員長・内田部会長・福嶋委員・遠藤委員が「個人情報に関する勉強会」を、田中副部会長・田島委員・名古屋委員が「高齢者110番（仮称）」を担当。
- ・各チームの今後の打合せ日程については、後日鍵和田より調整を行う。
- ・プロジェクトチームごとの協議にB部会の委員が参加することも想定される。

2 個人情報に関する勉強会について

- ・2018年11月17日（土）10:00～11:30（9:30開場）実施予定。当日スタッフは部会全体に呼びかけ募集する。
- ・会場は、アミューホール、消費者センター、けやきホール等を想定（公用申請）。予約不可であれば健康センター、市役所も利用可。プロジェクトチーム内で予約状況を確認し検討する。

3 地域団体等との意見交換会について

- ・地区によっては意見交換会実施が第2層協議体立ち上げの流れにつながっていることもある。そのため9月以降実施分で利用する資料「地域団体等との意見交換会」に関しては、第2層協議体の説明を記載する。（鍵和田より対応。）

4 HPの活用について

1) 活用案や改善点について

- ・CO中心に協議体HPの更新・周知を行う。周知の方法は今後CO中心に検討。
- ・紙媒体での協議体の活動周知も今後の検討課題としていく。

5 高齢者110番の取り組みについて

1) 事前打ち合わせの内容について

◎8/16（木）に、田島委員、名古屋委員、鍵和田で以下の内容を打合せ。（詳細は当日資料参照）

- ・新しい仕組みづくりは現実的でなく、ふれあい協力員が行っているふれあいネットワーク事業など、既存の仕組みや活動に横串を刺すような視点が必要。
- ・支え合うきよせ委員会は、地域内で住民同士がつながる手段（潤滑油、媒介手段）について考える必要あり。
- ・まずは、市内の取り組みや活動について知ることから始め、連携できる部分を探るなどの視点を持

つ必要がある。

2) 今後について

- ・高齢者 110 番の仕組みを新たに作る視点は一度置いておき、回覧板の実施状況について調査するなど、既存のものを活用・広げる視点を持つ。(市内の活動や取り組みの実施状況を調査する)
- ・年度内に形にすることを目安に、プロジェクトチームにて協議を行っていく。

6 今後の予定

1) 次回本会・部会開催日程

- ・ 11月20日(火) 13時30分~14時30分(部会 14時30分~15時30分)
@清瀬市役所 第1、2委員会室

	宿題	締め切り	やる人
1	プロジェクトチーム打合せ日調整	近日中	鍵和田
2	「地域団体等との意見交換会」2層協議体について加筆	近日中	鍵和田
3	個人情報に関する勉強会 会場確保		個人情報に関する勉強会プロジェクトチーム
4	HP 周知の方法の検討	継続して検討	CO・A部会
5	協議体の活動周知(紙媒体)	継続して検討	CO・A部会
6	住民の繋がりづくりについて、市内の取り組み(回覧板の実施状況など)を調査	年度内	高齢者 110 番プロジェクトチーム